鳥取

里山の恵みと暮らしを伝えよう！

小学校低学年　小学校高学年
小学校中学年　中学校

ＥＳＤの要素

持続可能な社会づくりの構成概念

- **多様性**
- **相互性**
- 有限性
- 公平性
- **連携性**
- 責任性

ESD視点で育みたい能力/態度

- 【批判】批判的に考える力
- 【未来】未来像を予測して計画を立てる力
- 【多面】多面的、総合的に考える力
- **【伝達】コミュニケーションを行う力**
- **【協力】他者と協力する態度**
- **【関連】つながりを尊重する態度**
- 【参加】進んで参加する態度

プログラムの目標

①伝統料理づくりの体験を通して、昔から継承されてきた暮らしや知恵、自分達の生活との違いを体感する。
②中山間地域に暮らす地元住民との交流を通して豊かな心を醸成するとともに、山里の暮らしの営みや地域課題について理解を深める。
③食と暮らしをテーマに、地域の魅力や課題を他者（家族、まちの人など）に伝える。

プログラムの概要

自然と共生する中山間地域の暮らしには、持続可能なライフスタイルの知恵が詰まっているものの、それを伝承する機会や担い手が課題となっている。そこで、街の子どもが山里の集落に出かけて、地元住民と交流しながら地域の伝統料理づくりを体験し、そこから見えてくる“まちと農村”“昔と今の暮らし”について理解すると共に豊かな心を育む機会とする。そして、中山間地域の魅力（人、暮らしの知恵、環境など）や課題を、まちの人たちに向けて発信する。

学習指導要領との関連

学年	小学校3年	小学校3年	中学校3・4年
教科/領域	社会	理科	総合的な学習の時間
学習内容	目標（１）、内容（２） 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。 ア　地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。	目標（２）内容（２） 身近な自然の観察、身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。 イ　生物は、その周辺の環境とかかわって生きていること。	-

里山の恵みと暮らしを伝えよう！

持続可能な社会の構成概念

相互性

自然の恵みをいただく活動や伝統文化とふれあうことで、自然環境と人間の暮らしの関係を学ぶ。

多様性

地元住民との交流を通して、多様な人の暮らし・生き方について理解する。

連携性

子どもが地域から学ぶだけでなく、次世代の目線から見た地域について地元住民も学ぶ、共に学びあう機会を養う。

ESDで育みたい能力／態度

伝達

体験をアウトプットすることや人に伝える活動を通して、コミュニケーション力を身につけます。

協力

伝統料理づくりを行う中で、他者と協力しながら苦労や喜びをわかちあう機会を養います。

関連

自然と暮らし、まちと農村、昔と今、それぞれの関わりあいについて理解します。

プログラム（単元・題材）の展開の流れ

総時間 11時間

里山の恵みと暮らしを伝えよう！

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕	
1時間目	**地域を探検しよう**		批判 未来
	地元住民の案内のもと地域を散策する。	・地元住民の人となりや、地域の自然・生活環境について知る。 ・地域での過ごし方を共有する。	多面 **伝達** 協力 関連 参加
2～6時間目	**伝統料理「かま焼き」をつくろう**		批判 未来
	畑から野菜を収穫して餡を作る。 杵と臼を使って餅ベースの生地を作る。 餡と生地を合わせる。	・地元住民から伝統料理にまつわる話や作り方を教わる。 ・できるだけ自分自身で収穫したものや地元の食材を使い、はじめからおわりまで通した体験を行う。 ・薪や炭を使って火をおこし、昔ながらの方法で作る。 ・刃物や火の扱いについて、安全管理に気をつける。 ・活動内容や発見したことを記録する。 〔食材、調味料、調理器具、臼、杵、薪、炭、メモ用紙、カメラ〕	多面 **伝達** **協力** **関連** 参加
7時間目	**伝統料理を味わおう**		批判 未来
	伝統料理や地元食材を使った昼食を食べる。	・地元住民といっしょに食卓を囲み、交流しながら昼食を食べる。 ・伝統料理づくりの感想をわかちあう。 〔食器〕	多面 **伝達** 協力 関連 参加

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕	
8・9時間目	**地域の暮らしを伝えよう①**		批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加
	地域の食と暮らしについて、体験から得られた知恵や学びをまとめる。	・記録を基に活動の内容や様子、気づきをまとめ、ワークシートを完成させる。 〔ワークシート、水性ペン、クレヨン、色紙、マスキングテープ〕	
10・11時間目	**地域の暮らしを伝えよう②**		批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加
	地域の農産物直売所等で地域の食と暮らしをPRする。	・発表のためのマナーを確認して準備する。 ・ワークシートを活用して、直売所のお客さんに学習内容やメッセージ、地域の魅力などを発信する。 〔ワークシート〕	

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

地域プログラム地域化メンバー
・志子部地区モデル交流体験事業実行委員会
・特定非営利活動法人ECOフューチャーとっとり
・環境教育事務所Leaf

実証協力校等
・志子部地区モデル交流体験事業実行委員会